

高浜地区振興会 広報

はと 鳩の峯

No.25
2012
10.1

平成24年10月1日



御輿、十数年ぶりに
石段を下る

高浜八幡宮秋季例大祭

主な内容

精霊流し	2P
ハ幡様の石段	3P
井戸端会議	3P
高小運動会	4P
高浜ぶどう	4P
編集後記	4P

文化13年(1816)に現在の地(鳩の峯)に移転以来、参道の石段の傷みが酷く、近年は御輿を担いでの御下りもできない程でした。

9月9日の秋季例大祭では、新たになった鳥居や参道の階段を「御輿を担いだ」本来の姿で通ることができました。

参道の勾配も以前に比べて緩やかで、随分歩きやすくなりました。また、撤去された古い石は、境内の敷石として生まれ変わりました。これからは皆さんの参詣を足元から見守ってくれるのではないでしょうか。ぜひ、足をお運びください。ハ幡様から見渡した高浜の景色はやっぱり良いものです。

高浜精霊流し

8月15日(水)に高浜地区の精霊流しが実施されました。昨年は天候に悩まされましたが、今回は準備の時点から問題なく運営されました。今年の舟の数はもやい舟も含めて22帆。午後7時過ぎから集結し始めました。会場へ続く道路の提灯も雰囲気をかもし出していました。会場である高浜港もあつとう間に人で埋まり、高浜地区恒例的一大行事にふさわしい賑わいを見せっていました。舟の終結後、午後8時から読経が始まり、精霊舟を出した初盆家は舟に向かい手を合わせていました。



八幡様の石段



りが出来るのだろうか?」と心配をされてしまうか。只々、これから八幡宮の祭りが末永く引き継がれていくことを祈るばかりです。

がつていています。 急な勾配だった階段も、少し緩やかになりました。これらから先の高齢化を考えると「この先、何年祭

は、文化13年(1816年)上田家7代庄屋上田宣珍の代、現在の鳩の峯の石段は村中の公役により完成したものと云われています。その石段

は上田の古文書によれば、文化13年(1816年)上田家7代庄屋上田宣珍の代、現在の鳩の峯の石段は村中の公役により完成しました。高浜八幡宮は196年近く高浜八幡宮の祭りを見守つてくれた歴史ある石段であります。しかし、長年の風雪に耐えた石段にも傷みが生じ、至る所に傾きができるなど、参拝や祭りの際に歩くこともままならない危険な状況であつたため大幅な改修が必要とされました。この度は、地域や出郷者の皆さんからの多大なる寄付により、階段や鳥居、境内などの改修が行われました。また、工事にあたり高浜地区建設業の方々の協力により素晴らしいものに仕上



新



地域の声
く井戸端会議く

4年前に第1回を実施。昨年は開催を見送りましたが、今年度、事業を復活しました。各行政区の公民館等において開催され、まず、天草支所産業建設課から下水道加入促進についての説明がありましたが、宅内工事や料金など疑問に思うことの質問も多く飛び出しました。その後、振興会の活動をビデオにしたものを視聴し、現在進めている3本のプロジェクトを紹介しました。

この井戸端会議により、多くの意見を参加者で共有しました。今後井戸端会議の意見集約が行われます。全てを活動に活かすことはできませんが、ひとつでも多く活動に取り

地域における問題を皆さんにどう捉えているかを聴くため、9月12～25日にかけて各行政区において「井戸端会議」を開催しました。地域における問題を皆さんにどう捉えているかを聴くため、9月12～25日にかけて各行政区において「井戸端会議」を開催しました。



